

大畠重衛教授 略歴・主要著作目録

1948年10月28日 福井県大野市蕨生69-22に生まれる

学 歴

1967年3月 福井県立大野高等学校卒業
1968年4月 金沢大学法文学部経済学科入学
1972年3月 金沢大学法文学部経済学科卒業〔経済学士〕
1972年4月 金沢大学法文学部専攻科（1974年3月まで）
1974年4月 立教大学大学院経済学研究科修士課程入学
1976年3月 立教大学大学院経済学研究科修士課程修了〔経済学修士〕
1977年4月 立教大学大学院経済学研究科博士課程入学
1980年3月 立教大学大学院経済学研究科博士課程単位取得後退学

職 歴

1967年4月 福井県職員（1967年8月まで）
1980年4月 財団法人金融経済研究所研究員（1987年3月まで）
1986年4月 埼玉大学経済短期大学部非常勤講師（1987年3月まで）
1987年4月 金沢経済大学経済学部専任講師（1989年3月まで）
1989年4月 金沢経済大学経済学部助教授（1999年3月まで）
1991年4月 金沢大学経済学部非常勤講師（1992年3月まで）
1991年7月 名城大学商学部非常勤講師（1991年8月まで）
1993年6月 高知大学人文学部非常勤講師（1993年10月まで）
1995年4月 北陸大学法学部非常勤講師（2004年3月まで）
1999年4月 金沢大学大学院経済学研究科非常勤講師（2001年3月まで）
1999年4月 金沢経済大学経済学部教授（2008年3月まで）
2008年4月 星稜女子短期大学長（2012年3月まで）
2008年4月 星稜女子短期大学経営実務科教授（2012年3月まで）
2012年4月 金沢星稜大学経済学部教授（現在に至る）
2012年9月 高知大学人文学部非常勤講師（2012年9月まで）

主な研究業績

1. 著 書

1. 『現代経済と金融の空洞化』（共著）有斐閣，1987年6月。
2. 『金融自由化にともなう北陸地域における貯蓄，資金，保険の現況について』（共著）北陸郵政局保険部，1988年3月。
3. 『現代金融の制度と理論』（共著）大月書店，1992年5月。
4. 『金融自由化の下で期待される個人金融サービスの充実と郵便貯金の役割』（単著）北陸郵政局貯金部，1993年7月。
5. 『不良債権の累積と金融ビッグバン—変革迫られる民間金融の実態と求められる郵便貯金の新たな役割—』（単著）北陸郵政局貯金部，1999年10月。
6. 『金融論』（共著）青木書店，2000年7月。
7. 『大月金融辞典』（共著）大月書店，2002年4月。
8. 『環日本海地域の協力・共存・持続的発展』（共著）環日本海国際学術交流協会，2012年11月。

2. 学 術 論 文

1. 「企業間信用の「異常な膨張」について」（単著）

- 立教大学大学院経済学修士学位論文, 1976年3月。
2. 「利子生み資本範疇と貸付概念」(頭川博) 評—利子生み資本理解の誤りと, 販売と貸付の混同について—(単著)
『立教経済学論叢』(立教大学大学院), 1979年2月。
 3. 「商業信用について(1)—商業信用形成の必然性を中心にして—」(単著)
『金融経済』((財)金融経済研究所) 190号, 1981年10月。
 4. 「商業信用について(2)—掛売り・掛買い, 準備貨幣資本との関連を中心にして—」(単著)
『金融経済』((財)金融経済研究所) 194号, 1982年6月。
 5. 「企業間信用論議にみる若干の問題点—戦後高度成長下の信用制度研究のために—(上)」(単著)
『金融経済』((財)金融経済研究所) 創刊200号記念号, 1983年6月。
 6. 「企業間信用論議にみる若干の問題点—戦後高度成長下の信用制度研究のために—(下)」(単著)
『金融経済』((財)金融経済研究所) 213号, 1985年8月。
 7. 「高度成長期, 「人為的低金利政策」の再検討—規制政策の意味を問う—」(単著)
『金融経済』((財)金融経済研究所) 218号, 1986年7月。
 8. 「銀行対証券—「資金シフト」論から「金融証券化」論への系譜—」(単著)
『金融経済』((財)金融経済研究所) 220号, 1987年1月。
 9. 「高度成長期, 金融政策の再検討—規制政策を中心にして—」(単著)
『金融学会報告』(金融学会) 64号, 1987年7月。
 10. 「証券恐慌と救済融資に関する覚え書き(1)—昭和40年証券恐慌と日銀特融の発動にまで至る若干の問題—」(単著)
『金融経済』((財)金融経済研究所) 222号, 1987年11月。
 11. 「銀行対金融仲介機関の競争の一局面—新しい金融商品をめぐる開発競争が意味するもの—」(単著)
『金沢経済大学論集』(金沢経済大学経済学会) 創立20周年記念論文集, 21巻2・3号合併号, 1987年12月。
 12. 「銀行・証券・保険をめぐる北陸地域金融の現状と問題点—金融自由化が及ぼす地域金融への影響を念頭において—」(単著)
『金沢経済大学経済研究所年報』(金沢経済大学経済研究所) 9号, 1989年3月。
 13. 「金融の自由化・商業銀行の変容・新たな公的規制」(単著)
『信用理論研究』(信用理論研究学会) 6号, 1989年9月。
 14. 「金融の自由化と生保金融の変貌—1980年代, 生命保険会社金融活動の展開から—」(単著)
『文研論集』((財)生命保険文化研究所) 93号, 1990年12月。
 15. 「金融政策論の難点—所謂「貨幣乗数アプローチ」と「日銀理論」の比較から—」(単著)
『立教経済学研究』(立教大学経済学研究会) 小林威雄教授追悼号, 47巻4号, 1994年3月。
 16. 「市場経済下の通貨と金融政策」(単著)
『金沢経済大学論集』(金沢経済大学経済学会) 29巻3号, 1996年3月。
 17. 「金融自由化と公的金融—郵便貯金が果たすべき役割は何か—」(単著)
『金沢経済大学経済研究所年報』(金沢経済大学経済研究所) 17号, 1997年3月。
 18. 「金融機関類型の一視点」(単著)
『金沢経済大学論集』(金沢経済大学経済学会) 32巻1号, 1998年7月。
 19. 「銀行業の特質といわゆる不良債権問題—銀行経営における妙味と陥穽—」(単著)
『金沢経済大学経済研究所年報』(金沢経済大学経済研究所) 22号, 2002年3月。
 20. 「民間金融機関の利益構造の変遷と金融システムの将来像」(単著)
『平成17年度 郵便貯金に関する委託研究書』(日本郵政公社北陸支社貯金部), 2006年10月。
 21. 「1990年代以降のわが国資金循環構造の変貌と若干の論点」(単著)
『金沢星稜大学論集』(金沢星稜大学経済学会) 40巻3号, 2007年3月。
 22. 「1990年以降における金融業の利益構造と若干の論点—銀行・証券業における利益構造の視点から—」(単著)
『金沢星稜大学経済研究所年報』(金沢星稜大学経済研究所) 27号, 2007年3月。